

研修会報告

令和 7 年 7 月 15 日

文 責：尾池 裕子

研修会テーマ「令和 6 年度宮臨技精度管理調査 細胞診部門フォローアップ研修会」

開催日時 令和 7 年 7 月 13 日（日）13：00 ～15：00

会 場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司 会 小泉 照樹

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 38 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 0 名 学生 0 名
合計 39 名

講演 1「令和 6 年度宮臨技精度管理調査 細胞診部門調査報告・設問解説」

「令和 6 年度宮臨技精度管理調査 細胞診部門アンケート報告(ROSE について)」

宮城県対がん協会 細胞診センター 羽場 詩穂美 技師

国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科 齋藤 邦倫 技師

講演 2「膵腺房細胞癌の典型像と免疫染色」

東北大学病院 病理部 今野 かおり 技師

講演 3「肺癌遺伝子変異検査 Up to Date と気管支鏡検査における ROSE の重要性」

東北大学病院 呼吸器内科 宮内 栄作 先生

内容

2025 年 7 月 13 日（日）13 時から 15 時にかけて、Zoom ウェビナー形式で「令和 6 年度宮臨技精度管理調査 細胞診部門フォローアップ研修会」を開催した。

本研修会は、令和 6 年度宮臨技精度管理調査の細胞診部門の結果を分析し、参加者の細胞診に関する知識の向上を図ることを目的とした。特に、精度管理調査で正解率の低かった項目や、導入が進む迅速細胞診（ROSE）に関する情報共有を通じて、県内の細胞診における質の均てん化を目指した。

講演 1「令和 6 年度宮臨技精度管理調査 細胞診部門調査報告・設問解説」では、宮城県対がん協会 細胞診センターの羽場 詩穂美 技師から、令和 6 年度の精度管理調査結果の報告と各設問の詳細な解説があった。続いて「令和 6 年度宮臨技精度管理調査 細胞診部門アンケート報告（ROSE について）」では、国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科の齋藤 邦倫 技師から、精度管理調査と同時に実施された迅速細胞診（ROSE）に関するアンケート調査の結果が報告された。これにより、県内における ROSE の普及状況や運用実態が明らかになった。導入を検討している施設では、マンパワー不足や経験を積む機会の少なさが導入の障壁となっていることが示された。

講演 2 「膵腺房細胞癌の典型像と免疫染色」では、東北大学病院 病理部の今野 かおり 技師から、精度管理調査の設問で正解率が低かった膵臓の症例を取り上げ、その典型的な細胞像、鑑別診断のポイント、鑑別に有用な免疫染色について詳細な解説をしていただいた。

講演 3 「肺癌遺伝子変異検査 Up to Date と気管支鏡検査における ROSE の重要性」では、東北大学病院 呼吸器内科の宮内 栄作 先生から、肺癌の診断から治療に至るまでの流れと、多岐にわたる遺伝子検査の詳細について最新の情報が提供された。また、気管支鏡検査における ROSE の重要性についても強調され、適切な検査と治療を進めるためには、病理部門と臨床部門の相互のコミュニケーションが不可欠であるという認識を深めることができた。

本研修会は、参加者が細胞診に関する知識を深め、最新の情報を得る貴重な機会となった。特に、精度管理調査の結果を踏まえた詳細な症例解説や、迅速細胞診（ROSE）に関する現状と課題の共有は、今後の日常業務に役立つ内容だった。また、病理と臨床の連携の重要性が改めて強調され、多職種連携の促進にも寄与するものと期待される。

今後も精度管理やアンケート調査を通じて得られた情報を会員に還元し、共に成長する機会となるような有益な研修会の開催に努めたい。